

葛尾村には素敵な 4つの愛がある

第13号



葛尾村教育委員会

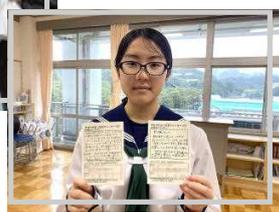
「出会い」は「出愛」。一人一人との出会いを大切に



出愛



今回初企画の「ふるさと葛尾の風景写真展」



コロナで会えなくても
村民の方とお手紙での交流

子どもたちと
ともに笑い
ともに夢を
語り合いましょ



ふれ愛



スクールフェスタ&公民館まつり2021の最後に
みんなで踊った「葛尾川」



富岡三春校のみなさん



中体連の壮行会
小学生も先生もみんな応援

「ふれあい」は、子どもたちに勇気と思いやり、耐性を育む

“愛”を受け取った人は、“愛”を与える人になる

人は、夢を育て

夢は、人を育てる

夢を持って生きる大人の姿が

子どもたちにも、勇気と自信を

誇りと夢を育てていくのです

ともに夢を語り合いましょ



助け愛



みなさん、いつも
ありがとうございます



i P a d で発表内容の検討中



学び愛



先生方の
研修会

富岡三春校との
合同授業



「言葉は生きている」ことを十分に噛みしめて

私が出会った4つの愛



ふるさとの 昔のにぎわい 本当は？

葛尾小 山崎陽向さん



じゅぎょうで葛尾村の歴史を調べていて、昔は、人が今よりも多かったと聞き、昔は今にもどらないけど、昔みたいになた人が多くなってほしいという願いを込めました

色あせず 残る思い 出子に語る

母 山崎美穂さん

授業などで村のことを調べているが、昔は人口が多くにぎわっていたと聞くものの、半信半疑の娘に親が見て感じたことを伝えたかったので、それを句にしました

曾祖父の 新盆お供え お手伝い

葛尾中 松本彩楓さん

今年が曾祖父の新盆だったので、お供え物をするのを手伝いしたこと、この俳句を作りました

新盆の 灯籠の灯り 父帰る

祖母 松本智恵子さん



亡き父が、初めてのお盆に灯籠の灯りを頼りに我が家へ帰ってきた思いを俳句にしました

* 今回は、「ふくしまを十七文字で奏でよう」（県教委）に応募した作品から二組を。そのときの情景、心のふれ愛の様子が伝わってきますね（*^_^*）

かつらお「4つの愛」推進プロジェクトの思い

幼小中学校「スクールフェスタ」と「公民館まつり」は、村に戻ってきてからお互いに協力し、合同で開催してきました。今年は感染拡大の第五波が大きかったこともあり、教室生の活動をビデオに録画して子どもたちに見てもらうようにしました。動画撮影に協力して下さった各教室の皆さんには、子どもたちへの温かな励ましのメッセージもいただきました。ありがとうございました。

現在、「ふるさと葛尾の風景」写真展を開催しています。コロナの中でも、みなさんの交流ができないかと企画したものです。子どもたちや先生方、地域の方の素敵な写真が展示されています。しばらくは「あぜりあ」で、その後は村民会館ホールに移動して展示する予定です。お出かけの際には、どうぞお立ち寄り下さい。

葛尾村教育委員会教育長 小野田 敏之